

■■

大石田大橋下部工（横山地区側橋脚）工事の進捗について

■■

P1橋脚	令和7年度							
	8	9	10	11	12	1	2	3
準備工								
仮設工								
橋脚躯体工								
基礎工								
撤去工								

現在、大石田大橋架け替えに伴う大石田大橋下部工（横山地区側橋脚）工事を行っています。橋脚工事は「ニューマチックケーソン工法」(※裏面に詳細を掲載)を採用しております。

また、大石田大橋横山地区側(東屋付近)において、電子看板(デジタルサイネージ)を設置し、工事の内容や進捗状況等を発信しております。

現地でも
情報発信中

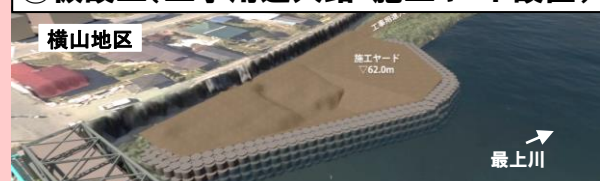


施工開始から完了までの流れ

①施工前



②仮設工(工事用進入路・施工ヤード設置)



③躯体工・基礎工(ケーソン基礎・橋脚)



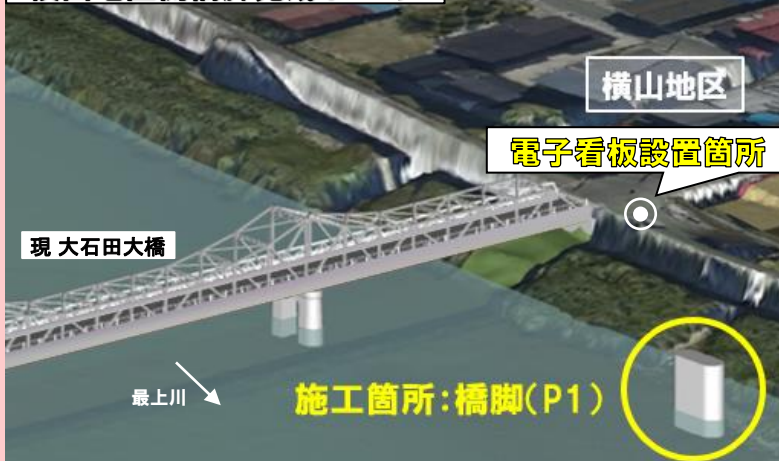
④撤去工(資機材・施工ヤード)



⑤完了



横山地区側橋脚完成イメージ



現在の施工状況

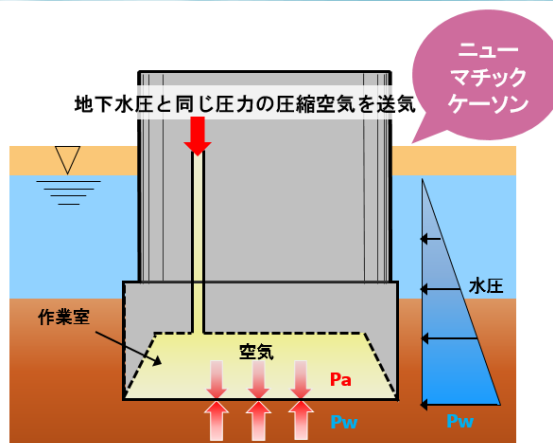


■ ■ 本工事はニューマチックケーソン工法を用いて施工します ■ ■

● ニューマチックケーソン工法とは

ニューマチックケーソン工法（Pneumatic caisson method）のpneumaticは「空気の」「圧搾空気を利用した」、caissonは「函（はこ）」を意味します。

ニューマチックケーソン工法は、あらかじめ地上で下部に作業室を設けた鉄筋コンクリート製の函（ケーソン）を築造するとともに、作業室に地下水圧に見合う圧縮空気を送り込むことにより地下水を排除し、常にドライな環境で掘削・沈下を行って所定の位置に構築物を設置する工法です。



施行手順

ケーソンの設置

空気圧送による地下水対策

掘削作業

コンクリート打設作業

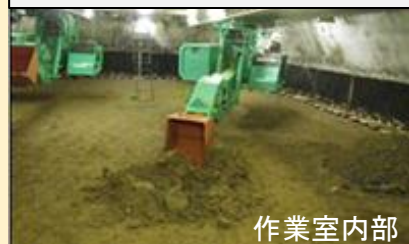
ケーソンの沈下

支持地盤到達

コンクリート打設作業



掘削作業



●地域のみなさまへのお願い

1 1月下旬から2月中旬にかけて、本作業は**24時間体制**で施工いたします。

工事中は、低振動型機械の使用や車両運行計画の工夫により、振動・騒音を抑え、地域の皆さまへの影響を最小限にします。

事業へのご理解とご協力をお願いします。

■ ■ かわまちづくりに関するアンケート調査を実施しています ■ ■

新庄河川事務所及び大石田町では、ワークショップ等でいただいた地域のみなさまのご意見をもとに整備構想図（案）を作成しております。さらに多くのみなさまからご意見をいただき、よりよい内容とすることを目的に、11月上旬に“大石田・横山地区かわまちづくりに関するアンケート調査”を町内全戸に配布しております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

回答期限は、11月28日（金）まで

【もがみがわ中流・上流 緊急治水対策プロジェクトのお問い合わせ先】

治水対策に関する疑問や意見についてお気軽にお問い合わせください。

移転に伴う不安や問題についても、遠慮なくご相談ください。



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

事業計画に関すること/大場 (TEL)0233-22-0254
用地に関すること /三部 (TEL)0233-22-0253



ホームページもご覧下さい
<https://www.thr.mlit.go.jp/shinjoyou/>



大石田町 建設課
治水・定住対策グループ/神保
(TEL)0237-35-2111



<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



そばにーくるん